

香りの基礎知識

- 賦香率（ふこうりつ）による香りの分類
- 賦香率（ふこうりつ）というのはアルコールに溶かした香料の割合のことです。一言で香水と言っても濃度は一つではありません。濃度の高い順におおまかに4種類に分類されます。
同じメーカーの同じ香水でも、賦香率による香りの分類によって香り方も価格も違ってきます。香料が多く含まれている香水ほど高価格になります。

香水の種類	濃度	持続時間	特徴
パルファム (香水/Parfum)	15~25%	5~7 時間	香料の濃度が最も高く完成された最高品質の豪華な香り。調香師が香りをもっとも表現したものです。香料を最も贅沢に使用していて、香りの持続時間も長く、価格も高価になります。高価だが一滴でも十分効果発揮。
オードパルファム (Eau de Parfum-EDP-E/P)	5%~15%	5 時間前後	香りの持続時間が5時間ぐらいが一番『パルファム』に近いのに、量も価格もパルファムに比べてお得で割安感が人気の秘密のようです。レディース用が多く発売されています。
オードトワレ Eau de Toilette-EDT-E/T)	5%~10%	3~4 時間	最近人気の香水の中心的存在で、香り立ちのやわらかさが支持を得ています。賦香率が低く通常3時間ぐらいで香りが弱まるのでオフィスでの使用や初めて香りを使用する人向けです。
オーデコロン (Eau de Cologne-EDC-E/C)	3%~5%	1~2 時間	成分としてはアルコールや蒸留水がほとんどで、リフレッシュ効果があり、使い心地に爽快感があります。基本的に香料もシンプルで量と価格が経済的なため全身にたっぷり使えます。

香りの変化

- 香水は一つの香りがずっと続くものではありません。
香水は色々な香料から成り立っているため、「各香料の濃度」や「揮発性の違い」によって、つけた時間の経過と共におおよそ3段階に変化していきます。
香りの主張はミドルです。香水はつける人の体温や体臭、場所、種類、時間、気候などさまざまな条件によって微妙に変化します。



- **トップノート** (～30分くらい)
つけてから30分以内の香り。シトラスやスパイスなど揮発性の高い香りですぐに消えてしまいます。香りが強いので人に会う時は要注意。(一般的にこの最初の印象だけで香りを決定しない方が良くとされます。)
- **ミドルノート** (30分～1時間くらい)
その香りのテーマや特徴を最も強く、美しく表現されている部分です。主にフローラルやフルーティー系が多く使われます。香りの特徴がよく現れる理想的の時間帯です。
- **ラストノート** (ベースノート) (3時間～)
残り香。主に深みと暖かみのある樹木や動物性香料でムスク、アンバー等が有名です。場合によっては、その人のイメージを決定付けることもあります。

主な天然香料



ベルガモット
Bergamote



ローズ
Rose



ジャスミン
Jasmin



Lavande・ラベンダ